



慌てず、騒がず、落ち着いて  
クマと遭遇したら…

●遠くにクマがいることに気がついたとき  
・落ち着いてその場から離れましょう  
・大声を出したり、走って逃げるのやめましょう  
・フラッシュ撮影は止めましょう

●近くにクマがいることに気がついたとき  
・クマに背を向けて、クマを見ながらゆっくり落ち着いて後退してください

●すぐ近くで出会ったとき  
・慌てた人の急な動作で驚いて、攻撃してくることがあるので、冷静に慌てず、クマが立ち去ってからその場を離れましょう  
・突然におそわれたら、両腕で顔や頭をガードして、大ケガを避けましょう

参考：環境省「クマに注意！」

QRコード

全国各地において、市街地に姿を現すようになり被害をもたらしているクマ。朝日町も例外ではなく、人的被害は出でていないものの、生活エリアでの目撃情報をはじめりんごやぶどうなどの食害は数多く報告されています（11月5日時点）で52頭が箱罠により捕獲。クマとの遭遇を避けるためにも、出没情報があった場所には近付かれており、その結果、2025年11月5日現在、15件の目撃情報が報告されています。

確認いただけます。

クマ目撃マップ

## 2ヶ月で15件の情報提供 クマ目撃相次ぐ

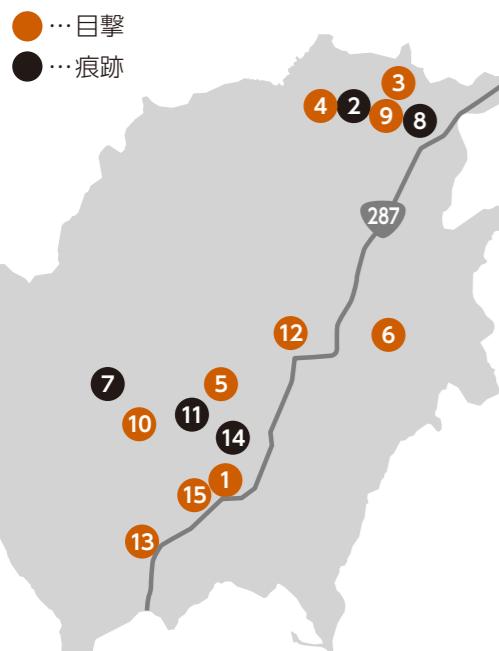
## 目次 ○ CONTENTS

- P2 町長歳時記  
P3 Pick Up News  
P4 クマ目撃相次ぐ  
P5 特集  
P6 地域資源、どう生かす  
P7 町政スポット  
P8 ニッサンの森 秋の活動  
P9 町農業委員会が農林水産大臣表彰 ほか  
P10 まちレポ  
P11 事業所のPRグッズを製作  
P12 あけびの特徴を学習 ほか  
P13 災害発生時の復旧をスムーズに  
P14 第61回朝日町芸術文化祭  
P15 最近のウサヒニュース  
P16 ももいろメイトのばんげだなはあ  
P17 我ら地域活性化起業人 ほか  
P18 それいけ協力隊とウサヒ、町立図書館コーナー  
P19 健康あさひるばんざい、朝日町の神社と御堂  
P20 戸籍のまど、となりのリンゴさん ほか  
P21 みんなで遊びタイト あさひまち健康福祉まつり

### 町内におけるクマの目撃情報

9月から11月5日までの間に町へ連絡があった、住宅周辺のクマの目撃情報です。

町に情報提供があった際は随時、出没地区周辺の区長、消防朝日分署、保育園や学校などに共有しています。



月 日	時 間	目撃場所
① 9月2日(火)	午前2時頃	旧上郷小学校近くの自動販売機付近
② 9月7日(日)		大谷第四区公民館向かいの畑
③ 9月9日(火)	午前5時頃	大谷地区内猿田
④ 9月12日(金)	午後7時頃	県道112号 左沢浮島線
⑤ 9月18日(木)	午後1時頃	県道9号 長井大江線付近(防火水槽脇)
⑥ 9月19日(金)	午前10時頃	町防災備蓄倉庫付近
⑦ 9月26日(金)		太郎、石田渕公民館付近
⑧ 10月8日(水)		秋葉山グラウンド付近ブドウ園地
⑨ 10月11日(土)	午前6時頃	北部体育館隣住宅
⑩ 10月16日(木)	午前6時頃	松程区・太郎地区間
⑪ 10月17日(金)		西五百川小学校付近
⑫ 10月18日(土)	午前9時頃	県道113号 宮宿浮島線付近の山中
⑬ 10月27日(月)	午後3時頃	大船木地区周辺県道
⑭ 11月2日(日)		ときわ橋山歴史公園付近
⑮ 11月4日(火)	午後4時頃	杉山区内国道287号

### 表紙の写真



10月19日、創遊館の芝生広場で遊ぶ姉妹を撮影。2人は空へ舞い上がるシャボン玉を、目いっぱいに手を伸ばしながら笑顔で追いかけていました。

この日は同じく創遊館で“みんなで遊びタイト”と“あさひまち健康福祉まつり”が開催されており、会場には楽しそうな声が飛び交っていました。

※ 24ページに当日の様子を掲載

町長歳時記 (224)

子どもは  
「授かる」ものである  
～感謝の心をもって、  
謙虚にそして誠実に生きる～

日本の宗教評論家であり仏教思想家である「ひろさちや氏」の著書『まんだら人生論(下)』にある、次のような話に出会いました。

「最近の親は、子どもを『つくる』と考えている。……しかし、昔の人々はそうは考えなかつた。子どもは仏様から『授かる』ものだと信じていた。わたしは、昔の人々の考え方のほうが素晴らしいと思う。……」

少子高齢化が叫ばれて久しくなります。この間、流れに歯止めを掛けられたか、または好転したかと言われれば、残念ながらそうした事実は無く、その兆しもなかなか見られない状態であります。むしろコロナ禍を境にその傾向は雪崩を打ったかのように深刻さを増すばかりであります。

少子化対策に何も為さなかった訳ではなく、むしろ子育て支援策には、経済的負担軽減や健康支援、子どもの医療費無償化など、できる限りの様々な支援策を実施してまいりました。また出会いの場の創出や結婚支援策についても取り組ませていただいたところであります。

しかしながらそれ努力が功を奏さないのは、どこか根本的なところで食い違いが生じているのではないかと思うようになりました。

そんな時「子どもは『授かる』ものだ」という言葉に出会い、ハッと気付かされました。

そうだったのだ。「子どもを『つくる』などという傲慢な気持ちや態度では、子どもを授けてくださるはずなどないのだ。ひたすら謙虚にそして誠実に物事に向き合い、感謝の心をもって生きて行くことの中で、運命や出会い、そして新しい命の誕生へと導かれて行くのではないのだろうか。という思いに至ったところであります。

朝日町長 稲木洋季

# 地域資源、どう生かす

株式会社朝日町総合産業開発発足から半年経過



## ▲統合後の部門ごとの取り組み

1. Asahi 自然観  
令和8年度の朝日自然観コテージ村グランドオープンに向けてコンセプトなどを検討  
(写真はリニューアルされたコテージの内観)
2. りんご温泉  
9月11日にオープンした宴会場にて提供された食事
3. 道の駅あさひまち りんごの森  
りんごを活用した新たな商品の製造・販売  
(写真は店内で販売されているりんご飴)
4. 地域商社事業部  
ふるさと納税の商品紹介をブラッシュアップ



▲今年のワインまつりでは、ふるさと納税の案内が書かれたカードを来場者に配布



## 株式会社 朝日町総合産業開発の企業理念 チャレンジと創意工夫による 地域への貢献

株式会社  
**朝日町総合産業開発**  
ASAHI VISIONARY WORKS

●町の豊かな自然環境と文化的資源を最大限に活用し、地域社会の発展に貢献します  
●持続可能で環境に優しい産業を構築することで、地域に誇りをもてる社会を実現し、地域とともに成長することを目指します  
●チャレンジ精神と創意工夫により地域の発展と持続可能な社会の実現に貢献します  
●地域に必要とされ、町民に愛される企業となり、ともに成長します  
●町が誇れる企業として、地域の未来を築いていきます

●最大限に生かしながら、持続可能な  
が、運営会社の統合です。この統  
合により、施設ごとのメリットを  
最大限に生かしながら、持続可能

●統合によつて図る利点  
その課題解決に向けた取り組み  
が、運営会社の統合です。この統  
合により、施設ごとのメリットを  
最大限に生かしながら、持続可能

●道の駅あさひまち りんごの森  
●りんご温泉  
●A s a h i 自然観  
●経営管理本部  
●地域商社事業部  
●経営企画や  
る説明を図ります。

●5部門で構成  
統合会社は次の5部門で構成さ  
れおり、連携を図つています。

●5部門の連携を強化することで、  
3施設をはじめ町全体に点在する  
さまざまな観光資源をつなぐと  
ともに、地域資源を生かし、さらな  
る説明を図ります。

## 統合し、連携を強化

### 3施設が抱えていた課題

町には、観光振興と雇用確保を目的とした町有の観光交流3施設（Asahi 自然観・道の駅あさひまちりんごの森・りんご温泉）があり、統合前は施設ごとの運営会社が経営していました。町内外からのお客様を迎える入れている3施設ですが、一方で、各運営会社には経営状況の厳しさや施設の老朽化による大規模改修の必要性、さらには3施設の位置関係も相まって、町内の周遊につながりにくいくことなどを課題として抱えていました。

な観光交流施設の再構築を目指すことになりました。また、施設間の連携も強化され、各社が保有しているネットワークの活用や、各施設で異なる繁忙期などに応じた人材の流動化が可能となります。そして、全体的な経営を管理する部署を設けることで、各社が保有しているネットワークの活用や、各施設で異なる繁忙期などに応じた人材の流動化が可能となります。そして、全体的な経営企画や財務・労務管理が一元化され、効率的な運営を行うことができます。

同社の財務・労務管理などを担い、3施設では主に各施設の管理・運営を行います。また、地域商社事業部は統合に伴い新たに設けられたもので、観光面と物産面についての企画や事業の運営を担います。3施設の連携強化のほか、販路開拓、ふるさと納税事業の強化、農産物や加工品による新たな商品開発を行い、新たな魅力を創造するために追加されました。経営管理本部と地域商社事業部は、りんご温泉2階（旧レストランひめさゆり）を事務室とし、統合会社5部門間連携の拠点としています。

3施設をはじめ町全体に点在する

さまざまな観光資源をつなぐと

ともに、地域資源を生かし、さらな

る説明を図ります。



## 令和7年度 朝日町青少年健全育成大会



10月25日、創遊館ホールを会場に町青少年健全育成町民大会が開催され、約60人が参加しました。

「育てよう生きる力」をテーマに、町民一丸となって町の宝である子どもたちの教育や環境について考える本大会。

今回は、山形県家庭教育アドバイザーの笹原英子さんを講師に迎え、「子育て今昔物語」と題して、昭和後期と令和の子育てにおける考え方や求められる環境の違いについて講話が行われました。参加者は講話やグループワークを通じて、現代の子育ての特徴への理解を深めていました。

## 令和7年度 朝日町自治功労者等受章者

### 自治功労

#### 鈴木 好一 氏 (ハツ沼)

平成3年5月から通算14年6ヶ月間、町農業委員として、平成28年12月から9年間は農業委員会会長として、町農業の振興発展に尽力

### 自治功労

#### 永井 正夫 氏 (松原)

平成6年以來、古式銃砲修復鉄砲師として町芸術文化祭などのさまざまな機会で森重流砲術の発砲演武を披露し、町芸術文化活動の振興に貢献

### 自治功労

#### 今井 正仁 氏 (新宿)

平成9年9月から28年間、町土地改良区理事として、平成29年9月から4年間は理事長として、町産業の振興発展に寄与

### 自治功労

#### 阿部 幸子 氏 (栄町)

平成25年12月から12年間、民生委員・児童委員として、令和元年12月から6年間は町民生児童委員協議会の副会長として、地域福祉の向上に尽力



### 自治功労

#### 海野 武雄 氏 (助ノ巻)

平成25年9月から12年3ヶ月間、町農業委員として、令和元年12月から6年間は農地部長として、町農業の振興発展に尽力

### 自治功労

#### フォークコーラスグループ あめっかぜ

昭和51年発足から50年間、歌唱披露や演奏会をはじめ、町に根付いた多くの楽曲を制作するなど、音楽活動を通じて町芸術文化活動の振興に貢献

### 自治功労

#### 白田 健志 氏 (大谷第五)

平成29年9月から8年間、町土地改良区理事として、令和3年9月から4年間は副理事長として、町産業の振興発展に寄与

### 自治功労

#### 川村 喜美雄 氏 (舟渡)

平成28年12月より9年間、民生委員・児童委員として日夜献身的に職務に精励し、地域福祉の向上に尽力

### 善行褒賞

#### 長岡 好男 氏 (大谷第五)

平成24年から今日まで、毎朝の登校時間に合わせて見守り活動を行い、子どもたちの安全・安心の確保に尽力

### 善行褒賞

#### 阿部 康夫 氏 (大谷第五)

平成27年から今日まで、毎朝の登校時間に合わせて見守り活動を行い、子どもたちの安全・安心の確保に尽力

## 町農業委員会が農林水産大臣表彰



町農業委員会と、会長の鈴木好一さん（ハツ沼）が農林水産大臣より表彰を受けました。これは農地の適正管理や担い手の育成・確実化への貢献です。

また、同委員会職務代理者の高橋道子さん（水本）が、15年以上農業委員として地域農業の発展と農家の地位向上に寄与したことに対し、農業会議会長より表彰を受けました。町農業委員会は、女性会員率3割以上を県内で初めて達成したほか、取り組みが全国の農業委員会へ紹介されるなど高い評価を受けています。

## ニッサンの森 秋の活動



10月13日、町と「絆の森」（小関真一代表取締役）により協定を締結する山形日産自動車株式会社および日産プリンス山形販売株式会社

やまがた絆の森プロジェクト「ニッサンの森」の森林整備活動が空気神社駐車場付近で行われました。企業と地域が交流するこの事業。当日は山形日産グループの社員とその家族約70人が参加し、敷地内の草刈りや歩道整備のほか、子どもたちを対象に木の実などを活用したワークショップが行われました。

## 寄付採納報告



安孫子代表取締役 (左)

株式会社寒河江測量設計事務所（安孫子文剛代表取締役／寒河江市）より、企業版ふるさと納税として金員50万円を寄付いただき、10月29日に感謝状の贈呈を行いました。

いただいた寄付金は今後、スポーツを通じて町民の健康増進を図る事業（スポーツ運動習慣化促進事業）に活用される予定です。



安孫子代表理事組合長 (右) と佐藤啓介朝日支所長 (左)

10月15日に、さがえ西村山農業協同組合（安孫子常哉代表理事組合長／寒河江市）よりカーブミラー4基を寄贈していただきました。

この寄贈は昭和48年から続くもので、当町にはこれまで237基をいただいている。カーブミラーは、町内の見通しが良くない交差点などに設置される予定です。



10/18 平成 14 年から続く交流会  
海の子・山の子交流会  
山のつどい

友好の町宮城県七ヶ浜町との交流を深める“海の子・山の子交流会”。7月に七ヶ浜町で行われた“山のつどい”に続き、当町で“山のつどい”が行われ、七ヶ浜町立松ヶ浜小学校の4・5年生と宮宿小学校6年生の計30人が参加しました。

児童たちはグループごとに自己紹介を終えると、栗木沢区内の園地へ移動し、シナノスイートを袋いっぱいに収穫しました。

学校に戻ると芋煮やりんごを味わい、レクリエーションスポーツのモルックで交流。松ヶ浜小の児童が帰る際には、バスが見えなくなるまで手を振って見送りました。



10/24  
26 大谷地区をより住みやすい場所に  
地域の課題解決に  
向けたイベント開催

大谷地区をより良い地区にしようという思いのもと、平成26年度に同地区民によって策定された“おおや理想みらい計画”。今年1月に策定から10年を迎えたことに合わせて、計画の振り返りと地区の現状について話し合いが行われました。

その中で挙げられた話題のうち“空き家が増加傾向にある”こと、そして“地区民同士の交流の場がない”という課題に対して、2つの取り組みが実施されました。

24日には秋葉山交遊館で“空き家セミナー＆個別相談会”を開催。町の空き家等バンクを運営している、一般社団法人希望活動醸成機構の阪野正義さんが講師を務め、空き家になる前後に必要な手続きやポイントについて解説しました。

26日には大谷往来館で“マージャン・将棋体験会”が行われ、参加者は世間話をしながら対局を楽しみ「家に一人でいるよりもぎやかに過ごせて良い」と笑顔で話していました。



▲マージャン・将棋体験会  
空き家セミナー&個別相談会



缶バッジは町芸術文化祭の来場者に  
プレゼントされました▶



10/14 学んだ魅力を形にして伝える  
事業所の PR グッズを製作

5月に町内各事業所で職場体験学習を行った朝日中2年生。体験を地域貢献につなげるために、各事業所の特徴を桃色ウサヒとともに描いた缶バッジを製作しました。

生徒たちは“まよひが企画”的佐藤恒平さんを講師に製作を進め、この過程で関わった機関や関係者についても学習。「特徴が分かるようにデザインすることが難しかった。事業所の紹介文も入れたので一緒に注目してほしい」と授業を振り返るとともに、魅力を伝えました。

10/16 “朝日町を徹底的に知る”総合的な学習の時間  
あけびの特徴を学習

朝日中1年生が、総合的な学習の時間で町特産のあけびについて学びました。

授業は町内あけび農家と、町食生活改善推進員の方々を講師に迎えて行われ、生徒たちはあけびの特徴や収穫までに必要な作業のほか、あけびを使った郷土料理などを学習。普段は食べないあけびの中身や、あけび料理を試食し「中身は種があって食べにくいけれど甘くておいしい。外側はやっぱり苦みを感じます」と感想を話していました。

10/17 約 18 年ぶりの再会  
元 ALT のトリニティさんが来町

平成17年から2年間、ALT（外国語指導助手）として町に赴任したトリニティ・ハートさん（アメリカ出身）が、10月16日から18日に町を訪れました。

着任中、ハロウィンパーティーや英語教室などを開催して町民と交流を深めたほか、りんごの収穫体験や登山などを通じて町の自然を体感したトリニティさん。今回は夫と共に町内を巡ったほか創遊館にも訪れ、当時の ALT 担当職員たちと懐かしい思い出を語り合っていました。

10/19 体験しながら町のりんごを学ぶ  
遊佐町の高校生が農業体験

山形県立遊佐高等学校の生徒たちが、朝日町の施設や果樹園を巡りました。このツアーは、遊佐町の地域おこし協力隊と当町の地域おこし協力隊の大久保武隊員との交流がきっかけで企画されたものです。

参加者は、りんごの加工場や町内のりんご園などを巡り、食べ比べや収穫などを体験。「りんごにもこんなに種類があることを初めて知り、その魅力を発見できました」と町のりんご産業について学びを深めていました。



道の駅にも訪れ、りんごの歴史などを学習していました



10/30

## 安全でおいしいりんごを届けるために 安全・安心「ふじ」 現地交流会

能中区内の園地にて、りんご生産者と消費者代表、農業関係機関による“安全・安心「ふじ」現地交流会”が行われました。

安全で安心な農産物の生産確認を目的に、ふじの出荷を控えるこの時期に毎年行われているこの交流会。今年のふじは、7月から8月の高温と干ばつの影響で、実は小ぶりながら糖度が高い傾向にあることがJAの調査結果として報告されています。

交流会には、あさひ保育園の園児たちと町食生活改善推進協議会の皆さんが消費者代表として出席。安全性確認のため検体となるふじを採取し、分析する専門機関へ引き渡しました。その後の意見交換には園児たちも参加し「どうやってりんごは大きくなるの」など元気に質問。また、検査済みのシナノゴールドを試食する場面もあり「パリパリの食感で甘くておいしい」と味わっていました。交流会は青空のもと、園児たちとともに和やかに行われました。



10/25  
26

## 今年は1泊2日で実施 朝日町民登山

“朝日町民登山”が行われました。町のシンボルである朝日連峰の雄大さを感じながら登ることが醍醐味のこのイベント。一行は午前8時30分頃に白滝口を出発し、この時期ならではの景色を楽しみながらスムーズな足取りでブナ林を通過。午後0時30分頃には鳥原山避難小屋に到着し、休憩と交流を楽しみました。

26日の下山途中には、冬期間の積雪による破損を防ぐために設置された仮設橋\*（白滝上流の金山沢にかかる2箇所）の撤去作業が町山岳会会員によって行われ、参加者はその様子を見学。その後は“朝日鉱泉ナチュラリストの家”で昼食をとり、自然に包まれながら充実した2日間を過ごしました。

初参加の方は「初めての本格的な登山だったので不安もあったが、山岳会の方からのサポートもあり、山の魅力を楽しむことができた。登りながら見る景色はとても美しく記憶に残る登山になった。また来年も参加したい」と笑顔で振り返っていました。

(\*仮設橋は来年5月上旬に復旧される予定です。)



10/26

## 磨き上げた声で選手を応援 O-60コミュニティ(モンテ声磨き教室)

町とモンテディオ山形による、声に着目した健康教室“O-60 コミュニティ(モンテ声磨き教室)”が行われました。

9月から開催されたこの教室には町内在住の延べ29人が参加し、元気な声を出せるようにボイストレーニングを重ねました。最後となる今回は、山形県総合運動公園(天童市)で開催され、参加者は場外ステージでトレーニングの成果を披露した後試合を観戦。当日はあいにくの雨でしたが、選手を応援する元気な声がピッチに響き渡っていました。



10/28  
30

## たわわに実ったりんごで、季節を楽しもう 秋を楽しもう！

一般社団法人アップルランドが、園児たちに秋を楽しんでもらうために企画したイベント“秋を楽しもう！”が開催されました。

28日には保育園を会場に、シナノゴールドの試食会と阿部惣一郎さん(西町)による草笛の演奏を披露。草笛による童謡が奏でられ、園児たちは一緒に歌いながら、特徴的な音色を楽しんでいました。30日には町のりんご園で、シナノゴールドのもぎ取りを体験。先生に抱っこしてもらいながらたくさん収穫し、秋の訪れを楽しんでいました。



10/26

## 楽しみながら繰り広げる連係プレー 町民ソフトバレーボール大会

“町民ソフトバレーボール大会”が町民体育館を会場に開催され、13チームが出場しました。

勝敗や点数よりも、仲間との交流を深めリフレッシュにつなげることを目的としたこの大会。選手の皆さんは互いに声を掛け合いながら連係プレーを見せ「こんなに体を動かしたのは久々だったので疲れたけれど楽しかった」と、筋肉痛を訴えながらも笑顔を浮かべていました。会場は声援と笑い声に包まれていました。



10/26

## 町の景色を整いながら楽しむ りんご温泉 サウナ体験会

りんご温泉の第二駐車場で、サウナ体験会が行われました。このイベントは株式会社朝日町総合産業開発が主催し、地域おこし協力隊の工藤大輔隊員が企画したもの。会場にはテントサウナとバレルサウナが設置され、参加者は冷えた体をじっくり温めました。

体が十分に温まった後は、水風呂や外気浴を楽しみ、紅葉に染まる町の景色を眺めながら、穏やかな時間を過ごしていました。



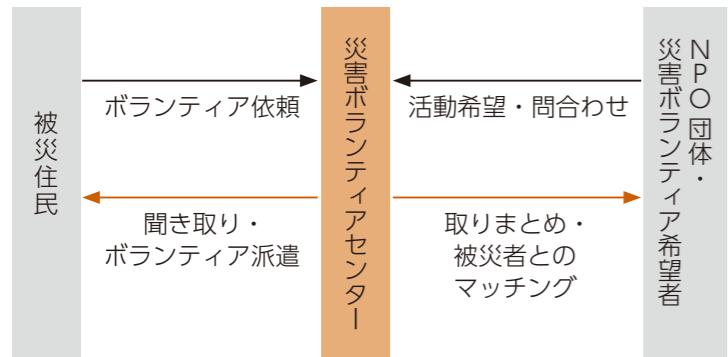
## 災害ボランティアセンター運営協力者の皆さん

10月25日、秋葉山交遊館を会場に、『災害ボランティアセンター設置運営訓練・研修会』が行われました。

この研修会は、災害発生時に設置される災害ボランティアセンター（以下に説明）の運営を円滑に進めるため、毎

取りやマッチングの際には心境に寄り添うことも大切にしてほしい」と、活動時の心構えも呼びかけられました。

## 災害ボランティアセンターとは？



被災地域の住民に寄り添い、ボランティア希望者と被災者をつなぐ支援機関。地域住民と日常的に関わる社会福祉協議会に設置されるケースが多く、当町においても行政との協定締結に基づき社会福祉協議会に設けられます。

同センターでは発災時、災害ボランティア希望者を取りまとめ、現地にて被災者から現状や必要な支援を聞き取ってマッチングにつなげる役割を担います。

# 災害発生時の復旧をスムーズに

# 災害ボランティアセンター設置運営訓練・研修会



## いざというときに備えて 子どもの急病対応講座

役場多目的ルームにて、子どもの急病時によく起きる症状とその対処法について理解を深める“子どもの急病対応講座”が開講されました。

当時は、西村山広域行政事務組合消防署朝日分署職員による小児の心肺蘇生方法の講習を実施。その後は、にとう小児科の仁藤敏昭院長を講師に迎え、子どもに発熱や嘔吐、けいれんなどが起こった場合の対処方法について講話が行われ、緊急時の対応について理解を深めていました。

## 台湾料理教室×立冬の食文化体験 料理教室と台湾のお茶体験



秋葉山交遊館にて、台湾の食文化を体験するイベント  
マヨージー ルーローハン  
“麻油鶏と滷肉飯で楽しむ台湾の冬”が開催されました。

地域おこし協力隊の陳昱睿隊員が企画したこのイベントで、黒ごま油と生姜で仕上げる“麻油鶏”を調理し、台湾を代表する庶民料理“滷肉飯”とともに実食した参加者たち。「生姜が効いた優しい味でおいしかった。家でも作ってみたい」と、台湾の紅茶とともに体が温まる料理に舌鼓を打っていました。

# フォークコーラスグループ あめっかぜ 50周年記念 音もだちコンサート



創遊館ホールを会場に、フォークコーラス  
ループあめっかぜの50周年記念コンサート  
音もだちコンサート”が開催され、町内外から  
200人以上が来場しました。

昭和50年に結成されてから現在に至るまで「優しさを歌えば風になる」をテーマに掲げ、100曲以上のオリジナル曲を歌い続けてきた同グループ。当日は会員により計15曲が披露されたほか、会員以外の有志「音もだち」約30人と共同グループの代表曲“あめっかぜ讃歌”（作詞：部宗一郎／作曲：松田昌弘）が披露されました。場者は曲の振り付けを踊ったり、手拍子をしたりと聞きなじみのある歌を楽しんでいました。

松田会長はこれまで支えてくださった方々に謝を述べるとともに「メンバーと一緒にこのを迎えることができて良かった。お客さんにこのコンサートをきっかけに、朝日町をよく知って好きになってもらえたうれしい」笑顔で語りました。

# 第61回 朝日町 芸術 文化祭



## 未来へつなごう わわらの文化

11月2日(日)・3日(月)

昨年度より朝日中学校の文化祭と合同で開催されるようになり、それぞれの特徴が生かされて大いにぎわう町芸術文化祭。

11月2日と3日の両日、創遊館・西部公民館・北部公民館を会場に開催されました。

当団は、町芸術文化協議会や朝日中学生などがステージや展示でこれまでの練習の成果を披露。また、創遊館屋外で星の会(成原千枝代表)が主催するマルシェも開かれたほか、四ノ沢公民館で移動芸能発表会が行われ、多くの人々が文化活動を楽しみました。

町公式ホームページ▼



町公式Instagram▼



# ももいろメイトの ばんげだなはあ

ももいろメイトこと朝日町食生活改善推進協議会会員が、子どもたちに伝えたい朝日町の郷土料理を紹介します。

第15回



## 柿の白和え

【材料】(4人分)

- |                |              |
|----------------|--------------|
| ●柿(渋抜きしたもの)…2個 | ●砂糖…大さじ1と2/3 |
| ●木綿豆腐…1/3丁     | ●塩…少々        |
| ●くるみ(むき)…50g   |              |

柿は明治時代に庄内地方で作られ、山形県内に根付いたといわれています。

柿とくるみは、秋の同時期に収穫できるものとして、白和えを作る際に昔から活用されてきました。白和え料理は、「白い衣を纏った」という意味で、祝い事や仏事に用いられることが多いです。

柿はビタミンが豊富で、豆腐のたんぱく質と合わせると、栄養的にも優れた料理です。豆腐の水切りをしっかりした方が、水っぽくなるのを防ぎ、仕上がりの食感と風味が良くなります。柿と衣は、食べる直前に和えましょう。

町公式ホームページにも  
レシピを掲載▼



調理に携わったももいろメイトの皆さん

## 作り方

1



木綿豆腐は熱湯でゆで、水切りする。粗熱が取れたらペーパーなどに包んで絞る。

2



くるみをする。1を加えてさらになめらかになるまで、砂糖と塩で味を調える。

3



柿の皮をむき、へたを取ってくし形に切る。

4



2と3を食べる直前に和える。



テレビ番組に出演  
YBC 山形放送の番組  
“ピヨ卵ワイド”的キャスターさんと



“東京ゲームショウ 2025”へ3日間参加  
9月25日～9月28日開催  
会場: 幕張メッセ (約26万人来場)



ふるさと CM撮影  
(10月1日)

## 最近のウサヒーユース

不定期  
掲載

桃色ウサヒが自分で報告



活動18年目となる桃色ウサヒ。町内外のイベントへの参加やメディア出演のほか、さまざまなグッズも製作されています。

今回は桃色ウサヒ自身が、最近の出来事をいくつか報告します。

**高視聴率&7年ぶりの出演**  
県内市町村を取り上げて紹介するTUYの番組「どすコいやまがた」で6月、朝日町が紹介されたけど、みんな見ててくれたかな。ウサヒも自然観で相撲を取つたり、ダチョウのたまごで目玉焼きを作つたりと大活躍。7月に放送された総集編では、ウサヒの相撲が瞬間視聴率3位を獲得したよ。ちなみに、1位は朝日町でのラフティング。うれしいけどちょっと悔しい…。

また、9月にはYBCの番組「ピヨ卵ワイド」から7年ぶりの出演オファーをもらつたよ。その内容はなんと熊本県の有名ご当地キャラの対戦相手として指名されたんだ。勝負の内容には若干の大人の事情が匂つていたけど、久々の再会で旧交をかわせて、うれしかったモノ。

**国内最大級のゲームイベントに参加**  
9月27日から29日は千葉県幕張市で開催された国内最大級のゲームイベント「東京ゲームショウ2025」に参加して、朝日中学校の子どもたちに使ってもらえるように考えているんだ。

**ふるさとCMもお楽しみに**  
10月はふるさとCMを撮影。今年は10周年を迎える道の駅が舞台だよ。元地域おこし協力隊の田岡知曉さん、大谷地区まちづくり推進員の頼實孝明さんに協力してもらつて完成したんだ。12月にはYTSでオンラインで紹介します。

桃色ウサヒの中の人（佐藤恒平さん）より

今年も、朝日中学校でのウサヒグッズづくり（本紙10ページ“まちレポ”に掲載）やeスポーツ大会への出場、株式会社シベールにてウサヒのケーキが発売されるなど、たくさんの話題を作り続けているウサヒ。

下半期は、“世界キャラクターさみっこ（11月15日／埼玉県羽生市）”への参加をはじめ、県内外にて朝日町の情報を発信するための、独自の活動を一緒に展開していきます。

SNSでもウサヒの活動を紹介中



X (旧 Twitter)



Instagram









ティラノサウルスと鬼ごっこ



はじめてのカローリング

輪の中めがけて…

みんなでバーを飛び越え

的を狙って慎重に…



必要な野菜の摂取量をチェック



抽選会で豪華景品ゲット

血圧や骨密度などをチェック

## みんなで遊びタイト あさひまち健康福祉まつり

創遊館を会場に、“みんなで遊びタイト”と“あさひまち健康福祉まつり”が開催されました。

この2つのイベントは、町民が楽しみながら健康への関心を高めることを目的としています。

当日はレクリエーションスポーツなどを体験するブースが設けられたほか、食に関する展示や骨密度・血圧の測定を通して自身の健康状態を知る機会も提供。親子連れを中心に多くの来場者が体を動かすことを楽しみながら、健康への意識を深めていました。



町公式インスタグラムにも写真を掲載▶

さて、今月8日に開催されたフォーカクコーラスグループあめつかぜの50周年記念コンサート。会場の創遊館ホールの座席が足りなくなるほど多くの方が来場し、その盛況ぶりに驚くとともに、それだけ長く多くの方に愛されてきたグループなのだと改めて感じました。あめつかぜの皆さん、結成50周年、誠におめでとうございます。そして、これからもご活躍を楽しんでおります。 岡崎 陽果

## 春夏秋冬 編集後記

これからの歩みに  
ぜひご注目を

株式会社朝日町総合産業開発の発足から半年を迎えたことにちなみ、今号の特集では現時点における同社の歩みを特集しました。記事の制作を通して、3施設の運営や地域商社としての役割を担う各部門での取り組みを知るとともに、町の活性化に向けた熱意を強く感じました。これからも前進を続ける同社の挑戦に、ぜひご注目ください。